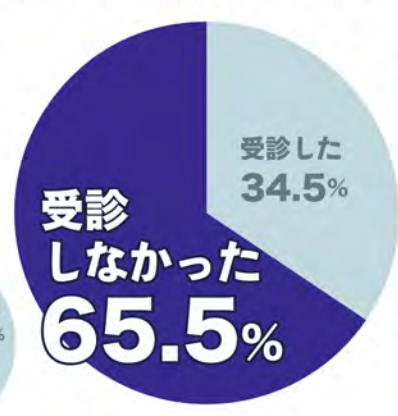


3.4. 5%で県内ワースト4位

市の特定健診受診率は県内でも低く、特に40〜64歳では7割以上の人が受診していません。

特定健診は、高血圧や糖尿病などの「血管を傷めるリスク」がないかを調べる有効な方法です。40歳以上になると、「血管を傷めるリスク」を持つ人が多くなり、脳梗塞などの可能性も高まります。1年に1回は健診を受診することで、その可能性を減らすことができます。

H26年度 武雄市特定健診受診率



【40〜64歳】



【65歳以上】



若い皆さん！
早めの予防が肝心ですよ！



あなたは大丈夫？ 生活習慣病セルフチェック

Q 今まで健康診断を受けたことがありますか

はい

いいえ

Q あてはまるものにチェックをしてください

<input checked="" type="checkbox"/> たばこを吸っている	<input checked="" type="checkbox"/> 早食い・ドカ食い・ながら食いが多い	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ毎日お酒を飲む
<input checked="" type="checkbox"/> 健診は受けたり受けなかったりしている	<input checked="" type="checkbox"/> この1年で体重の増減が3キロ以上	<input checked="" type="checkbox"/> 就寝前2時間以内の夕食が週3回以上

1つもあてはまらなかった

1つ以上あてはまった

高血圧・糖尿病・脂質異常症になっているかも…

突然死のリスク大

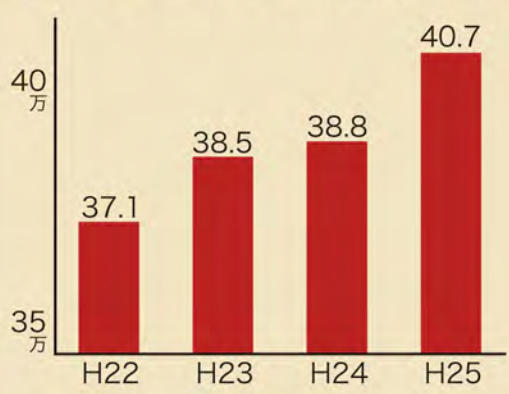
まずは健診を受けてください！

よく健康に気をつけていますね
日々の頑張りの成果を確認しましょう！健診でお待ちしております！

生活習慣病のリスクがあります
健診で体の状態を確認！健診後は無料保健指導もご利用ください



■国保加入者における一人当たり医療費(年)の推移



国保の医療費は、公費負担と国保税でまかなわれていきます。医療費がかかればかかるほど、国保税は高くならざるを得ません。生活習慣病を放置し重症化してからの治療は、入院や手術などで高い医療費がかかります。将来の経済的負担を軽くするためにも、日頃からの栄養・運動・休養に気を付けた生活習慣と、毎年の健診受診を心がけましょう。市では医療費削減のため、各種健診のほか、ジェネリック医薬品使用の推進、保健師・管理栄養士等による保健指導を行っています。

pick up
あなたの健康と保険税

